

# 市長の平成30年度施政方針に対し 各会派から代表質問

平成30年度の施政方針演説  
地域特性を生かすまちづくり

石井 明三 市長



全国的に、社会保障費や維持管理コストなど行財政需要の増大で財政状況が深刻化する中、多様化する市民ニーズに対応したまちづくりに取組まなければなりません。本市では、市民満足度調査で京田辺に住み続けたい理由に「自然の豊かさ」と「交通の便の良さ」をあげる市民が多く、このうち「まちの魅力に磨きをかけ、特性を生かしたコンパクトシティの構築を進めなければなりません。そのためにも、「緑豊かで健康な文化田園都市の実現に向けて、「まちづくりのプラン」に掲げる施策をみなさまの目に見える確かなものにしていきます。

また、魅力ある都市基盤整備では、新名神高速道路の一部開通、松井山手駅周辺への北陸新幹線の駅設置決定に加え、今春の山手幹線全線開通など、明るい未来への発展要素を最大限に生かし、府南部の交流拠点となるよう、文化ネットワークの中心となる複合型公共施設と商業施設を核とした魅力ある新市街地整備や新田辺駅東側の市街地再整備など、未来への投資を積極的に進めます。次に、未来を拓き次代を担う人材の育成では、「これまで進めてきた」子育てしやすいまちNo.1を目指す取り組みに、「幼保連携型認定こども園」の整備など子育て環境のさらなる充実を図り、明るく元気な「京田辺っ子」を育みます。次に、活力と賑わいづくりとして、本市の交通ポテンシャルを生かし、地域産業の活性化や新たな雇用創出のため、高速道路IC周辺や学研都市「南田辺東・西地区」で企業立地の受け皿整備を進めるほか、「TOJO」や「全国小学生ハンドボール大会」などのイベントを玉露等の地域資源と結びつけ、活性化に努めます。次に、活気と魅力あるまちづくりの重要なパートナーである同志社大学や同志社女子大学との連携を深め、豊富な人材や知的資源を生かします。

## 5つのキーワードと 主要な施策



～絆による安全・安心、減災～  
市営住宅長寿命化事業：1億2250万円  
消防ポンプ自動車整備事業：5356万円  
耐震性貯水槽整備事業：4021万円 など

～緑豊かなエコタウンの推進～  
プラスチック容器包装収集処理委託事業：2億3072万円  
可燃ごみ広域処理施設整備事業：1億7900万円  
府農総研跡地公園整備事業：1億4350万円 など



～活力あるコンパクトシティの推進～  
大住工専地区拡大支援事業：3000万円  
新田辺駅東地区まちづくり事業：700万円  
夢はこぶ北陸新幹線PR事業：40万円 など

～いきいき健幸・子育て支援～  
認定こども園施設整備事業：3億5453万円  
保育園施設整備事業：1億9877万円  
国民健康保険税激変緩和対応事業：1億円 など

～学び・文化のネットワーク創造～  
中学校給食事業手法等調査事業：100万円  
幼稚園保育室空調設備設置事業：4650万円  
放課後子ども教室事業：212万円 など